



トラフィックコピーポリシーの設定

- [トラフィック コピー ポリシー \(1 ページ\)](#)
- [送信元、宛先、およびトラフィックのコピー先 \(2 ページ\)](#)
- [トラフィック コピー ポリシーの注意事項と制限事項 \(3 ページ\)](#)
- [トラフィック コピー ポリシー設定のワークフロー \(3 ページ\)](#)
- [トラフィック コピーの宛先の作成 \(4 ページ\)](#)
- [トラフィック コピーの宛先の編集または削除 \(4 ページ\)](#)
- [トラフィック コピー契約の作成 \(4 ページ\)](#)
- [トラフィック コピー契約の編集または削除 \(5 ページ\)](#)
- [トラフィック コピー ポリシーの作成 \(5 ページ\)](#)
- [トラフィックコピーポリシーの編集または削除 \(5 ページ\)](#)

トラフィック コピー ポリシー

Catalyst Center を使用して、2つのエンティティ間の IP トラフィック フローがモニタリングまたはトラブルシューティングのために指定された宛先にコピーされるように Encapsulated Remote Switched Port Analyzer (ERSPAN) を設定できます。

Catalyst Center を使用して ERSPAN を設定するには、コピーするトラフィック フローの送信元と宛先を定義するトラフィック コピー ポリシーを作成します。トラフィックのコピーを送信するデバイスおよびインターフェイスを指定するトラフィック コピー契約も定義できます。



- (注) トラフィックコピーポリシーにはセキュリティグループまたは IP ネットワークグループのいずれかを含めることができるため、このガイド全体を通して、「グループ」という用語を使用する場合は他に指定がなければセキュリティグループおよび IP ネットワークグループの両方を指します。

送信元、宛先、およびトラフィックのコピー先

Catalyst Center トラフィックのモニターリングプロセスを簡素化します。物理ネットワーク ポロジを知っている必要はありません。必要なのは、トラフィックフローの送信元および宛先とコピーされたトラフィックの宛先となるトラフィック コピーの宛先を定義することだけです。

- [送信元 (Source)] : モニターするトラフィックが通過する 1 つまたは複数のネットワーク デバイス インターフェイス。このインターフェイスは、エンドポイント デバイス、これらのデバイスの特定ユーザー、またはアプリケーションに接続することがあります。送信元グループを構成できるのは、イーサネット、ファストイーサネット、ギガビットイーサネット、10 ギガビットイーサネット、またはポート チャネル インターフェイスのみです。
- [宛先 (Destination)] : モニターするトラフィックが流れる IP サブネットです。IP サブネットはサーバー、リモートピア、またはアプリケーションに接続することがあります。
- [トラフィックコピーの宛先 (Traffic Copy Destination)] : ERSPAN データを受信、処理、および分析するデバイス上にあるレイヤ 2 またはレイヤ 3 の LAN インターフェイス。このデバイスは、通常、分析用にトラフィックのコピーを受信するパケットキャプチャツールまたはネットワーク分析ツールになります。



- (注) 宛先では、スイッチ プロブ デバイスなどのネットワーク アナライザやその他のリモートモニターリング (RMON) プロブを使用してトラフィック分析を実行することを推奨します。

使用可能なインターフェイスタイプは、イーサネット、ファストイーサネット、ギガビットイーサネット、または 10 ギガビットイーサネットのみです。宛先として設定されると、そのインターフェイスはコピーされたトラフィックのみを受信するために使用されます。このインターフェイスは今後その他のタイプのトラフィックを受信できなくなり、トラフィック コピー機能が必要とする以外のトラフィックを転送できません。トランク インターフェイスを宛先として設定できます。この設定により、インターフェイスはカプセル化されたトラフィックを送信できるようになります。



- (注) 1 つのトラフィック コピー契約で使用できるトラフィック コピーの宛先は 1 つのみです。

Catalyst Center は、次のデバイスのトラフィックコピーポリシーをサポートしています。

- 送信元 : Cisco Catalyst 3000、Catalyst 4000、Catalyst 9000
- 宛先 : Cisco Nexus 7000、ASR 1000、Catalyst 6000、ISR 4000

トラフィックコピーポリシーの注意事項と制限事項

トラフィックコピーポリシー機能には次の制約事項があります。

- 最大8つのトラフィックコピーポリシー、16のコピー契約、および16のコピーの宛先を作成できます。
- 同じインターフェイスを複数のトラフィックコピーの宛先に使用することはできません。
- Catalyst Center は、トラフィックコピーポリシーが変更され、ネットワークに展開されているポリシーとの整合性が失われていることを示すステータスメッセージを表示しません。ただし、トラフィックコピーポリシーが展開された後に変更されたことが分かった場合は、そのポリシーを展開しなおすことができます。
- 管理インターフェイスを送信元グループまたはトラフィックコピーの宛先として設定することはできません。

トラフィックコピーポリシー設定のワークフロー

始める前に

- モニター対象にするには、トラフィックコピーポリシーで使用されている送信元セキュリティグループが、スイッチとそれらのインターフェイスに静的にマッピングされている必要があります。
- トラフィックコピーポリシー宛先グループは、IP ネットワークグループとして設定されている必要があります。詳細については、「[IP ネットワークグループの作成](#)」を参照してください。

ステップ1

トラフィックコピーの宛先を作成します。

これは、さらに分析するためにトラフィックフローがコピーされる、デバイス上のインターフェイスです。詳細については、[トラフィックコピーの宛先の作成 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ2

トラフィックコピーの契約を作成します。

契約はコピーの宛先を定義します。詳細については、[トラフィックコピー契約の作成 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ3

トラフィックコピーポリシーを作成します。

ポリシーは、トラフィックフローの送信元と宛先、およびコピーされたトラフィックが送信される宛先を指定するトラフィックコピーの契約を定義します。詳細については、[トラフィックコピーポリシーの作成 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

トラフィックコピーの宛先の作成

- ステップ1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Policy] > [Traffic Copy] > [Traffic Copy Destination] の順に選択します。
- ステップ2 トラフィックコピーの宛先の名前と説明を入力します。
- ステップ3 デバイスと1つまたは複数のポートを選択します。
- ステップ4 [Save] をクリックします。

トラフィックコピーの宛先の編集または削除

- ステップ1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Policy] > [Traffic Copy] > [Traffic Copy Destination] の順に選択します。
- ステップ2 編集または削除する宛先の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ3 次のいずれかを実行します。
 - 変更を行うには、[編集 (Edit)] をクリックして必要な変更を行い、[保存 (Save)] をクリックします。
 - 宛先を削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。

トラフィックコピー契約の作成

- ステップ1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Policy] > [Traffic Copy] > [Traffic Copy Contract] の順に選択します。
- ステップ2 [Add] をクリックします。
- ステップ3 ダイアログボックスに、契約の名前と説明を入力します。
- ステップ4 [コピー先 (Copy Destination)] ドロップダウンリストから、コピー先を選択します。

(注) コピー先は、1つのトラフィックコピー契約に対し1つだけ指定できます。

選択可能なコピー先がない場合は、1つ作成できます。詳細については、[トラフィックコピーの宛先の作成 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ5 [Save] をクリックします。

トラフィック コピー契約の編集または削除

ステップ 1 左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：[Policy]>[Traffic Copy]>[Traffic Copy Contract]の順に選択します。

ステップ 2 編集または削除する契約の横にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 次のいずれかを実行します。

- 変更を行うには、[編集 (Edit)] をクリックして必要な変更を行い、[保存 (Save)] をクリックします。
- 契約を削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。

トラフィック コピー ポリシーの作成

ステップ 1 [Policy]>[Traffic Copy]>[Traffic Copy Policies]の順に選択します。左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：

ステップ 2 [Add Policy] をクリックします。

ステップ 3 [ポリシー名 (Policy Name)] フィールドに名前を入力します。

ステップ 4 [説明 (Description)] フィールドにポリシーを表す単語またはフレーズを入力します。

ステップ 5 [契約 (Contract)] フィールドで、[契約の追加 (Add Contract)] をクリックします。

ステップ 6 使用する契約の隣にあるラジオ ボタンをクリックし、次に [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 7 [使用可能なグループ (Available Groups)] エリアから、[送信元 (Source)] エリアにグループをドラッグアンドドロップします。

ステップ 8 [使用可能なグループ (Available Groups)] エリアから、[宛先 (Destination)] エリアにグループをドラッグアンドドロップします。

ステップ 9 [Save] をクリックします。

トラフィックコピーポリシーの編集または削除

ステップ 1 [Policy]>[Traffic Copy]>[Traffic Copy Policies]の順に選択します。左上隅にあるメニューアイコンをクリックして次を選択します：

ステップ 2 編集または削除したいポリシーの横のチェック ボックスをオンにします。

ステップ 3 次のいずれかを実行します。

- 変更を行うには、[編集 (Edit)] をクリックして必要な変更を行い、[保存 (Save)] をクリックします。
 - ポリシーを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。